



全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 山崎 均／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎(03) 3263-0271
ホームページアドレス／<http://www.jichiro.gr.jp/zensyokyo/index.html>

民主党消防議員懇が総会

赤松広隆 会長 高嶋良充 事務局長 新役員体制など決める

3月12日、民主党の消防政策議員懇談会総会が開かれ、全消協から迫大助会長と山崎均事務局長が、自治労からは植本真砂子副委員長、自治労からは植本真砂子副委員長、重司輝雄組織局長らが出席した。(4面に関連記事)



●経過を報告する高嶋事務局長(左)

院議員(自治労組織内協力国会議員)ら新役員を選出。会員数は96人となったことが報告された(2008年4月末現在102人)。

自治労を代表し植本真砂子副委員長が、全消協からは迫大助会長があいさつ。迫会長は「全消協は消防を愛する者たちの集まり。地域における市民の安心・安全を守る消防行政の発展のために活動している。その活動を前進させるためにこそ、団結権が欲しい。民主党の力をお借りし、私たちの声を国会に反映させていきたい」と訴えた。

自治労の植本副委員長は、公務員制度改革の動向に言及し、「労働基本権の付与に関する議論では、消防職員への団結権について賛否両論の併記にとどめられた。今後の法案化と国会審議の過程で、前進が図れるよう、民主党のご奮闘を期待している」と述べた。



●迫会長があいさつ

続いて山崎均事務局長が、当面する消防行政の課題と全消協の求める政策要求を説明。消防職員の団結権獲得と職場の民主化、消防行政の広域化に対応した消防サービスのための政策活動の重要性を訴えた。

また総会には総務省消防庁からも幹部職員が出席し、消防行政の広域化や消防団の団員募集活動の強化など、行政当局の重点課題を説明。参議院第1党である民主党への気遣いぶりをうかがわせた。



先日、テレビを見ていたら「昭和の美人のトップ10」に私の実らぬ恋、永遠の恋人・夏目雅子様がランクインしていた。デビュー当時からの大ファンで、「鬼龍院花子の生涯」を観た後では「雅子のためなら死ぬ」と思ったくらいで。さて、昨年、行政改革推進本部専門調査会で公務員の労働基本権問題について検討されたが消防職員には団結権が付与されないという結果に。団結権を付与するべきでないという委員の中には「消防職員に団結権を与えることにより、主権者である国民にメリットがあるとは思えない」という発言も。いつまで俺たちの権利と命を軽視するんだと怒りを覚えずにはいられない。

もし団結権があれば、職場・労働環境はよりよきものになっているはずだ！ 劣悪な職場環境、いじめ・パワーハラスメントにより尊い命・仲間を失うこともなかった！ 主権者である国民のために働く消防士、消防力は守られたはずだ！ 主権者にとって団結権を与えないことが大きなデメリットになっている事実を知れ！ あんまり消防士をなめたらいかんぜよ!!

山崎 均
(全消協 事務局長)

愛を胸に困難を乗り越えよう

第37回労働講座 in ヨコハマ

4月16日から18日の間、本年度2回目の労働講座が横浜市で開催され、全国から男女50人が参加して消防職場の諸問題について研修を深めた。

講座初日の開講式では、全消協を代表して伊藤薫副会長が歓迎のあいさつと、本講座の目的や消防職場の課題について説明を行った。伊藤副会長は「現在進められている消防の広域化については、会員の学習と各種調査への取り組みが重要であり、消防職場を守るための具体的な方法を学び、この講座での仲間作りを積極的に行って欲しい」と強調した。

その後「消防財政と消防の広域化」を担当幹事が、具体的な事例を交えて講演し、夜は各班に分かれて自由に食事をとりながら交流を深めた。

2日目は、少しずつ全国的に女性の職員採用が増えていることを背景とした『男女共同参画』、消防職場の『快適職場づくり』、また生活を守るための『賃金・労働条件・年金』を各テーマとした講座が進められ、夕食は横浜中華街へ水上バスで移動し、全体交流会で懇親をはかった。

最終日は、『組織拡大・強化』への取り組みについて、各班で活発な討論や意見の交換を行った。最後に、斎藤英之幹事（北信ブロック）からの「現在消防の広域化が進められ、さまざまな困難があるが、消防への皆さんの熱い愛情を忘れないように。愛を胸に持てば困難ななかでも希望が見えてくるはず」との提言を受け、講座を終えた。



●女性の参加者は4人。定着と拡大が求められている。



●地域医療を考えるため、行政、病院・医師、介護サービス利用者など、様々な立場からのアプローチが必要。発言する小田さん（左）。

地域医療の改革議論に 救急現場の視点を

連合神奈川
シンポジウム

連合神奈川は4月16日、横浜市において「かながわ地域医療シンポジウム」を開催し、全消協も参加した。このシンポジウムでは、全消協の小田規親幹事（関東甲信ブロック・横浜消協）が発言し、救急現場の視点から見た地域医療のあり方への意見を述べた。

このシンポジウムでは、医療制度改革と県の策定する地域医療計画、医師の不足、政治問題化している後期高齢者医療制度の問題や介護の問題などを、医師や行政、NPO・市民など様々な立場から検討し、安心を保障できる地域医療を考えることを目的としたもの。

の。コーディネーターを朝日俊弘さん（元参議院議員・自治労出身）が務めた。会場から発言に立った小田さんは「私は救急救命士。老人の入所施設などのなかには、数日間熱がある、食欲がないなど、軽い症状なのに救急車を呼ぶところがある。その程度で救急車を呼んでくれるなど言えば、搬送するスタッフがいらない、との返答。本当に助けるべき命を救うためにも、介護の人材確保と施設認可の規制強化などが必要だ」と提起した。

医師不足で救急受け入れの可能な病院が減少する一方、安易な救急利用の問題も指摘される今日、地域に救急現場の視点から問題提起し連携して取り組むことが求められている。



●ピーター・ウォルド PSI書記長

「非常に多くの政府が公共部門の労働者の労働基本権を否定し続けていることを PSI は非常に残念に思います。皆様強く要請したいのは、公共サービスが団結権と団体交渉権によって手を携え良く機能している例から学ぶことです。団体協約は脅威ではなく、実

際には質の高い公共サービスの発展を強化・支援するものであるということを示す良い例がたくさんあります。日本は OECD 諸国で唯一、ILO 87号条約および98号条約を批准しながら消防職員の団結権を否定しています。43年以上、日本政府は結社の自由委員会の勧告を繰り返し無視し続けています。日本政府は、ILO の普

遍的な基準に甚だしく対抗しているのです。」

消防ネットワークの設立へ

PSI は10月2日-3日に韓国で消防ネットワークを設立し、権利が抑圧されている消防職員の運動の強化をめざす。全消協もこのネットワークに参加する予定だ。

日本は消防職員に団結権を与えよ PSI書記長がILOで訴え

PSIのピーター・ウォルド書記長は6月12日、ILO（国際労働機関）の全体総会で演説し、日本政府が消防職員の団結権を否認していることを強く非難し、ILOの勧告を受け入れるよう訴えた。

沖縄県・久米島町消防職員協議会

住民第一の消防行政のため 一致団結し邁進します

いちやりばちょうで



初めまして。2007年11月23日に沖縄県で13番目に誕生しました久米島町消防職員協議会です。まず、この場をお借りして、結成にあたり多大なご尽力をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。さて、久米島町は沖縄本島の西約100kmに位置し、久米島、奥武島、オハ島の有人島と無人島で米軍の射撃撃場である島島、徳島の西方にあり、県内唯一の活火山島である硫黄島島の5つの島で構成されています。

特産品として、久米島純、泡盛、味噌、焼き物に、海洋深層水を利用したミネラル水、塩、化粧品などが開発され、また東北楽天ゴールデンイーグルスのキャンプ地としても県外に広く知られるところとなっております。

その中で、久米島町消防本部は29人の職員（1署・空港消防所）により人口約8700人の町民の防災を担っています。

2002年に仲里村と具志川村の2村が合併し、久米島町が誕生したところですが、近年は消防広域再編の流れを受け、消防職員を取り巻く情勢も大きく変わっております。

また、消防組織内にも旧態依然とした体質が残り、離島という閉ざされた環境もあり、必要な情報を得ることも難しい状況に打開策も見出せないまま通常業務をこなす日々を送っていました。

そんな折、県消協から消防行政に関する情報の交換・共有・研究の場を持つために協議会結成の勧めがあり、それを受け職場内で様々な議論を行い、その結果、職員相互の親睦、全国の仲間との情報の共有等めざし21人の有志で結成に至りました。

今後も協議会活動を通じ、会員が一致団結し「住民第一の消防行政サービスの確立」をめざし、活動に邁進する所存です。

皆様のご指導・鞭撻を賜りながらがんばっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(久米島町消防職員協議会)

消防職員の声を国会へ

民主党消防政策議員懇

2008年4月末現在

衆議院		
名前	部屋番号	所属総支部
横路孝弘	2-516	北海道1区
鉢呂吉雄	1-207	北海道4区
佐々木隆博	2-325	北海道6区
仲野博子	1-237	北海道7区
逢坂誠二	1-740	北海道8区
鳩山由紀夫	1-334	北海道9区
松木謙公	1-306	北海道12区
金田誠一	2-622	北海道8区
寺田学	1-704	秋田1区
近藤洋介	2-605	山形2区
玄葉光一郎	1-522	福島3区
渡部恒三	2-202	福島4区
大畠章宏	1-231	茨城5区
福田昭夫	1-739	栃木2区
田嶋要	1-411	千葉1区
野田佳彦	1-441	千葉4区
細川律夫	2-513	埼玉3区
神風英男	2-227	埼玉4区
枝野幸男	2-538	埼玉5区
大野敦	2-310	埼玉6区
加藤公一	2-707	東京20区
池田元久	1-631	神奈川6区
岩國哲人	1-706	神奈川8区
笠浩史	1-420	神奈川9区
小沢鋭仁	2-641	山梨1区
後藤斎	1-737	山梨3区
西村智奈美	2-404	新潟1区
鷲尾英一郎	2-323	新潟2区
菊田真紀子	2-524	新潟4区
筒井信隆	2-505	新潟6区
渡辺周	2-327	静岡6区
古川元久	2-328	愛知2区
牧義夫	1-433	愛知4区
赤松広隆	2-403	愛知5区
岡本充功	1-622	愛知9区
中井治	1-533	三重1区
中川正春	1-428	三重2区
園田康博	1-623	岐阜3区
川端達夫	2-421	滋賀1区
田嶋一成	2-418	滋賀2区
三日月大造	2-419	滋賀3区
奥村展三	2-515	滋賀4区
前原誠司	1-601	京都2区
泉健太	2-205	京都3区
山井和則	1-240	京都6区
藤村修	2-324	大阪7区
山口壯	2-521	兵庫12区
土肥隆一	1-738	兵庫3区
柚木道義	1-301	岡山4区
平岡秀夫	2-341	山口2区
仙谷由人	1-235	徳島1区
高井美穂	1-234	徳島2区
小川淳也	2-621	香川1区
小松本龍	2-616	福岡1区
楠田大蔵	1-511	福岡5区
横光克彦	2-233	大分3区
川内博史	2-637	鹿児島1区

参議院		
名前	部屋番号	選挙区
峰崎直樹	703	北海道
田名部匡省	504	青森
谷博之	331	栃木
築瀬進	334	栃木
藤田幸久	205	茨城
郡司彰	626	茨城
富岡由紀夫	615	群馬
加賀谷健	539	千葉
千葉景子	412	神奈川
大河原雅子	309	東京
小川敏夫	628	東京
北澤俊美	510	長野
羽田雄一郎	525	長野
榛葉賀津也	742	静岡
木俣佳丈	317	愛知
谷岡郁子	406	愛知
芝博一	230	三重
高橋千秋	540	三重
山下八洲夫	218	岐阜
中村哲治	201	奈良
徳永久志	619	滋賀
林久美子	639	滋賀
福山哲郎	614	京都
水岡俊一	502	兵庫
辻泰弘	402	兵庫
佐藤公治	305	広島
武内則男	434	高知
岩本司	231	福岡
大久保勉	432	福岡
犬塚直史	318	長崎
松野信夫	721	熊本
相原久美子	621	比
家西悟	715	比
石井一	242	比
大島九州男	320	比
神本美恵子	421	比
高嶋良充	428	比
轟木利治	518	比
那谷屋正義	216	比
白眞勲	329	比
藤末健三	637	比
藤谷光信	716	比
松岡徹	734	比
横峯良郎	210	比
吉川沙織	340	比

副会長
副会長
副会長
幹事
副会長
幹事
副会長
幹事
事務局長
45

民主党消防行政政策議員懇談会が新たな役員体制のもとでスタートした。3月12日の総会で確認された活動方針では「消防職員の団結権の確立と職場環境の改善が求められる」とし、政策課題の研究のため全消協と連携し「市民のための消防」「いのちを守る救急救命」の実現をめざすと述べている。全国の消防職員の声を、民主党消防議員懇に寄せていこう。



●議員懇会長
赤松広隆衆議院議員



●議員懇事務局長
高嶋良充参議院議員